

## 使命、役割

## 組織が浜松市民に果たすべき使命、役割

佐久間地域の市民に身近な行政サービスを提供し、地域住民の意見を行政に反映させるとともに地域における市民協働を推進し、もって住民自治の推進を図ります。

## ビジョン

## 区が目指すべき将来像

## 森と水 生命はぐくむ 天竜区

豊かな自然と地域特性を活かすことで、各地域との交流を活発にし、働く場の創出に向けた環境づくりや高齢者が生き生きと暮らせる魅力ある地域づくりを進め、安心して定住できるまちを目指します。

## 経営方針

## 計画実行の方向性、進め方

## ■佐久間地域自治センターの経営方針

- 1 道路新設・改良事業等を推進し社会基盤の整備を図るとともに、自主防災組織助成事業やへき地医療支援事業などにも取り組み、安全で安心して暮らせる地域づくりを進めます。
- 2 きめ細かな道路整備を進めるほか、福祉バス運行事業等により公共の足を確保し、高齢者等の交通弱者にとっても利便性の高い地域づくりを進めます。
- 3 農業基盤の整備を進め、生産性の向上を図るとともに、観光イベント開催事業等を通じて地域や地場産品を積極的にPRし、産業の活性化を図ります。
- 4 森林居住環境整備事業等により間伐を推進するとともに、林道新設・改良に取り組んで森林作業の効率化を高め、森林の荒廃を防ぎ水源保全地域としての確立を図ります。
- 5 国際交流音楽指導講座や、地域文化の保存継承事業、また生涯学習事業などを通じ、郷土を愛する人を育成します。
- 6 自治会組織の支援や地域協議会の充実化に取り組むほか、市民団体が行う事業についても積極的に支援し、市民協働によるまちづくりを進めます。

市民（納税者）の視点	行政改革の視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>○利便性を高め環境資源を活用し、地域発展を目指します。</li> <li>○安全で安心して暮らせる地域づくりを進めます。</li> <li>○市民参加と協働により地域づくりを目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○合併効果を最大限に活かし、地域づくりを推進します。</li> <li>○歴史と民話の郷会館の管理、火葬業務、霊柩車運行業務など、民間委託を推進します。</li> <li>○指定管理者制度の導入を進めます。</li> </ul>
財務・コストの視点	組織・人材の視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>○予算編成、執行の自主性、透明性を高めます。</li> <li>○費用対効果の観点から重要度を考慮し事業展開します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民、地域発展を担う組織等と協働によるまちづくりを進めます。</li> <li>○職員の資質向上に努めます。</li> <li>○市民へのサービスを常に意識できる職員を育成します。</li> </ul>

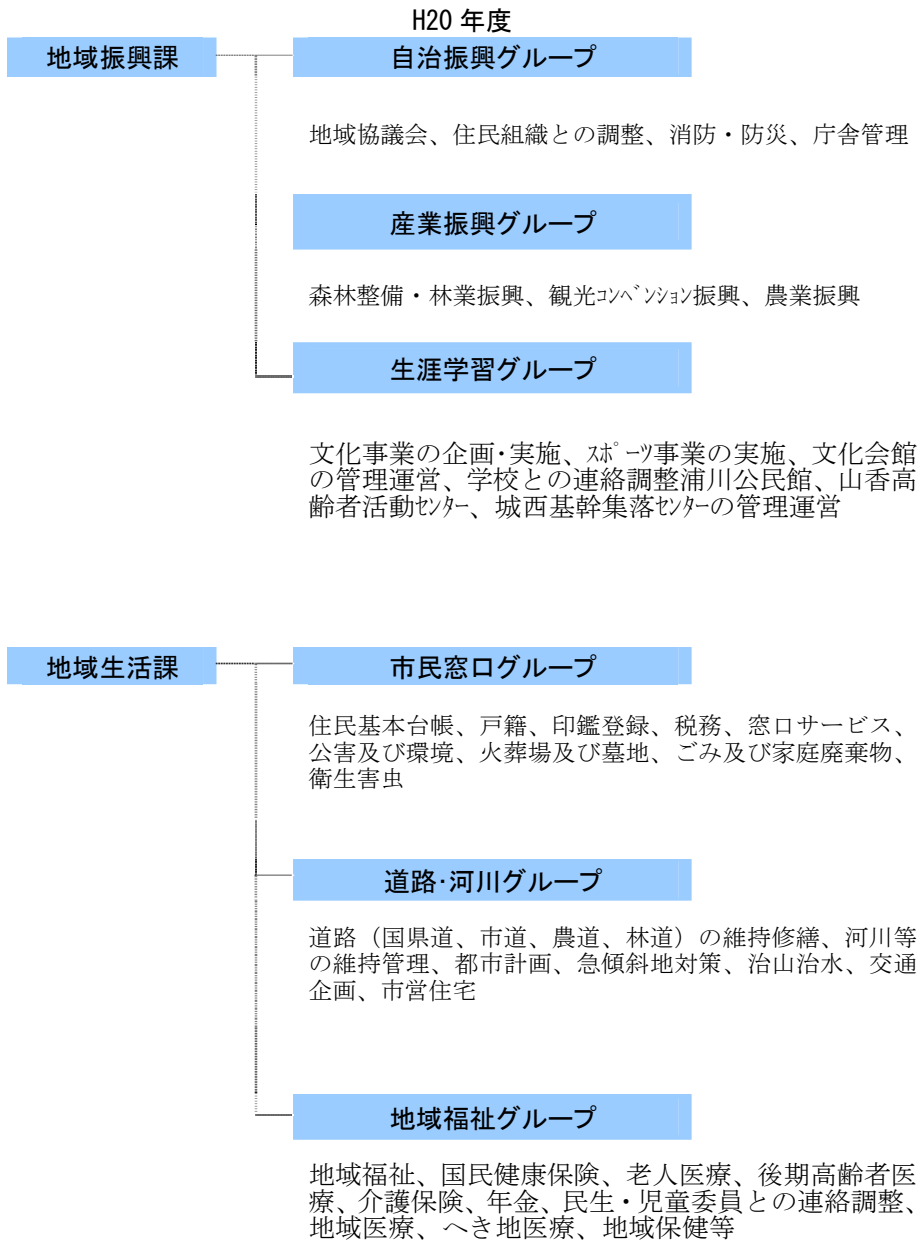
## ■各課の経営のポイント

地域振興課	まちづくり事業に配分される予算（一般財源）を有効に活用し、政策の推進と実現に努めます。
地域生活課	生活道等の整備により、高齢者にとって住みやすいまちづくりに努めます。また、福祉サービス機関との連携強化により、多様な福祉ニーズに応えます。

経営資源

平成 20 年度の組織の経営に要する資源

■天竜区佐久間地域自治センターの組織



天竜区 佐久間地域自治センター戦略計画 2008

■職員数（H19年度組織ベース）

地域振興課職員	H19年度	H20年度
計	17	15
所長	1	1
課長	1	1
課長補佐	1	1
自治振興グループ	4	4
産業振興グループ	3	2
生涯学習グループ	7	6
H19年度→H20年度 増減の理由		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林道に関する事務 産業振興G→地域生活課 1名</li> <li>・生涯学習Gアウトソーシングにより 1名減</li> </ul>		

【単位：人工】

地域生活課職員	H19年度	H20年度
計	18	19
課長	1	1
課長補佐		
市民窓口グループ	9	8
道路・河川グループ	8	7
地域福祉グループ		3
H19年度→H20年度 増減の理由		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民窓口Gアウトソーシングにより 1名減</li> <li>・道路河川Gアウトソーシングにより 2名減</li> <li>・農林道に関する事務 地域振興課→地域生活課 1名</li> <li>・地域福祉課の統合により 3名増</li> </ul>		

地域福祉課職員	H19年度	H20年度
計	4	0
課長	1	0
課長補佐		
地域福祉グループ	3	0
H19年度→H20年度 増減の理由		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活課へ統合</li> </ul>		

天竜区 佐久間地域自治センター戦略計画 2008

■予算規模 (H19 年度組織ベース)

【単位：千円】

	H19 年度		H20 年度	
	区役所費、 地域自治センター費	本庁からの 配当	区役所費、 地域自治センター費	本庁からの 配当
地域振興課	103,559	137,003	77,926	104,937
地域生活課	322	185,417	1,420	38,344
地域福祉課	1,007	4,882		
事業費計 (人件費除く)	104,888	327,302	79,346	143,281
人件費	312,000		272,000	
計	416,888	327,302	351,346	143,281
H19 年度→ H20 年度 増減の理由	人件費の減 H19→H20 △40,000 千円 自治センター費の減 H19→H20 △25,783 千円 (自治会振興事業の区役所費移行) 土木費の減 H19→H20 △171,521 千円 (土木費配当予算の本課移行)			

環境分析		社会経済環境の変化、区の特徴	
外部環境	<b>機会 (OPPORTUNITIES)</b>	<b>脅威 (THREATS)</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な市民ニーズや課題の克服に向けた地域自治センターの仕事が強く求められている。</li> <li>○まちづくりに関する地域活動及び地域組織の協働が進む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後更なる少子高齢化が加速し、地域自治区内の人口減少が予想される。</li> <li>○市財政環境の悪化により十分な行政サービスが受けられなくなる恐れがある。</li> </ul>	
内部要因	<b>強み (STRENGTHS)</b>	<b>弱み (WEAKNESSES)</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○優れた民俗芸能及び民俗文化が豊富にある。</li> <li>○自然環境が多く残っているため、子供が伸び伸び育つ環境にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本地域は、過疎化高齢化が進む中山間地域であり、教育施設及び金融機関等の公的施設の統廃合が進んでいる。</li> <li>○木材価格の低迷や基幹道路の整備が不十分なことから基幹産業の衰退が顕著化している。</li> <li>○合併により地理的不安が発生している。</li> </ul>	

**基本政策名** 天竜区の政策目標

■基本政策名 天竜区の実現と地域固有の行政サービスの展開

**目標** ビジョン実現に向けての目標値<平成 22 年度を目途とする指標>

	指標	実績	目標【カッコ内は実績】			
			H18	H19	H20	H21
1	蕎麦生産量 備考：生産奨励補助金	2,046 kg	2,046 (2,123)	2,150	2,200	2,250
2	原材料等支給量 備考：自治会要望に基づく原材料を支給量	8.1%	13.5 (8.1)	10.8	13.5	16.2
3	健康まつり参加人員 備考：参加人員	470 人	470 (500)	520	540	560

**重点事業** 目標達成に向けて重点的に取り組む手段

重点事業	所管名	平成 20 年度予算	市戦略 対象事業	マニフェスト 対象事業
①地域自治区まちづくり事業 地場産品をPRするためフェスタさくま、新そばまつり等を開催します。また、伝統芸能の保存継承事業や駅伝大会助成事業を通じ地域活力の維持を図ります。 ＜中事項名（新規）＞伝統芸能推進事業	地域振興課	15,812 千円		
②国県道整備事業 国道 152 号（大井・大輪間）改良工事の早期完成を推進します	地域生活課 土木整備事務所	千円		
③市道整備事業 市道佐久間相月線、市道佐久間浦川半場線の改良事業を推進します。	地域生活課 土木整備事務所	千円		
④道路整備促進事業 小規模道路等整備助成事業により乗用モノレールの設置を推進します。	地域生活課 区まちづくり課	千円		
⑤へき地医療対策事業 無医地区住民の医療を確保するため、へき地患者輸送事業を進めます。	地域生活課	5,438 千円		
⑥音楽文化発信・交流事業 音楽への理解を深めるとともに国際感覚を醸成するため、さくま国際交流コンサート等開催事業を進めます。	地域振興課	5,400 千円		

【参考】

<p>◆市戦略計画 2008 (戦略名) 戦略 1 アジアで一番輝くものづくり都市の創造 戦略 2 地域力を結集して取り組む“こども第一主義” 戦略 3 暮らし満足度向上計画 戦略 4 次世代に継承する天竜川・浜名湖の自然 戦略 5 “音楽の都”に向けた挑戦 戦略 6 世界を身近に感じる交流都市づくり</p>	<p>◆マニフェスト(市長の政策提言) (3つの基本姿勢 - 7つの挑戦) Ⅰこども第一主義 1 子育て世代を全力で応援 2 地域一体の教育で未来の浜松をつくる Ⅱ暮らし満足度向上計画 3 住みやすさナンバーワンの「ひとつの浜松」 4 安全・安心の医療と介護 Ⅲ07 浜松改革元年 5 スピードある行財政改革で必要な財源をつくる 6 地元の産業のさらなる発展を市長自ら立つ！ 7 トップが動く、浜松が変わる</p>
---	---